



白黒つけま

いなば卓夫

ニュースレター

平成 17 年 2 月 1 1 日 発行

☆☆☆☆☆☆☆☆  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

日光市議会議員  
稲葉卓夫後援会事務局  
〒321-1404 日光市御幸町 578  
TEL 0288(50)3178  
FAX 0288(50)3181  
携帯 090(2323)0667  
e-mail t-inaba@plum.plala.or.jp

# 合併する前からやりたい放題、合併したら・・・？ 特例債を目あての合併でいいんでしょうか。 合併を当てこんだ駆け込み、今市消防庁舎建設。



平成 15 年 6 月にジャスコ前に完成した今市消防庁舎

旧今市消防庁舎は阪神淡路大震災のあと、平成 9 年、耐震検査を実施し、耐震性に問題があることがわかった。補強工事に約 3 億円掛かるとの結果が出たが、補強工事をすると耐力壁等を設けなくてはならず、使い勝手が悪くなるとの理由で合併を先取りし新築を決定した。特例債の先取りも非難されるが、それよりも重要なことは広域消防を考えた時、位置や装備その他を 5 市町村で事前に協議すべきであった。法定協議会で日光の委員の根本英三郎さんは消防の難しさと問題点を指摘しています。(下記参照)

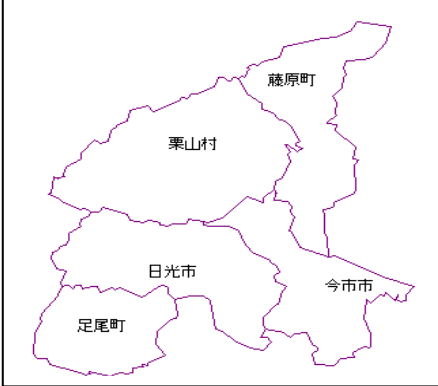
## 事業費 12 億 9 千万の約 73% なんと 9 億 4 千 2 4 0 万円が借金 (起債)

合併すると借金は新市に引き継ぐ事になります。事前に協議すべきでした。

事業年度 平成 13 年から 15 年の 3 ヶ年事業

■土地代	140,000,000円 (1 億 4 千万円)
■事業費 建物	1,096,242,000円のうち <b>791,000,000円</b> が借金
通信機器	197,400,000円のうち <b>151,400,000円</b> が借金
	国庫補助は 24,105,000円
合計 (土地代含む総事業費)	1,433,642,000円 (1 4 億 3 千万円)

【根本英三郎委員の発言】(平成 16 年 2 月 26 日第 7 回法定協議会、栗山村役場)  
消防団についてですが、消防団は管内に今市、日光、藤原、足尾、栗山と 5 市町村ありますが、それぞれの体質はまことに違うと思いますので、その防備する、例えば日光におきましては 2 社 1 寺をはじめ、国宝建造物、103 もの世界遺産の建物がありまして、バッファゾーン、ハーモニーゾーン等もあり、特殊な訓練、特殊な機材等もあるわけですし、今市には住宅とか建物が沢山あります。鬼怒川方面、藤原には高層建物がありまして、はしご車などがある。それぞれの地域の特性が極めて大きく、しかも広範囲になるので、この点について十分に配慮して考えていただいてやっていく事が望ましい。そういう配慮がそれぞれの消防団長にはあると思いますし、消防署長さん、市町村にもあると思います。それらの意見を聞いて、新市の今市消防団長が、日光消防団に干渉するというのは果たしてうまくいくのかと思いますので、できればしばらくの間、これについては統合を保留して、ある程度の時期まで待つという形で、できればそういうほうがうまくいくだろうと思います。中心を今市において、それを統括するという形で果たしていいのか、その辺のテクニックについては、もう少し関係者でつめていただきたいと思います。



消防庁舎の位置は  
どこでよかったのか？

【合併を前提にして作るのなら・・・】  
広域消防を考えた時、位置について 5 市町村で協議をすべきであった。今市新消防庁舎は橋に隣接しており、災害時、橋の落下があった場合、消防車や救急車の出動に問題がないか。2 社 1 寺の世界文化遺産を守る意識は希薄である。

# 合併すると日光は衰退します。それはこの地域のことを自ら決めることができなくなるからです。

市町村合併とは我々の「街づくり」であるはず。こんな大事なことを役所任せにしていいのか、今こそ市民レベルの議論を！

今市が十四議席で譲歩したのは四年間我慢すれば、あと三十議席のうち二十三からは二十五議席が今市出身者となり、全てが今市主導で決めることができるようになるからです。この合併は決して「日光」の発展につながると思いません。「やってみないとわからない」と言う人がいますが、後戻りはできないのです。特例債（借金）目当てに合併を急ぐべきではないのです。私は日光の市議会議員で日光市民のみなさまから歳費を貰っている身です。日光が発展する合併なら何も反対はしません。どなたにでも頭を下げて頼みに行くと言議会で発言しました。日光が衰退することがわかっていてから反対しているのです。

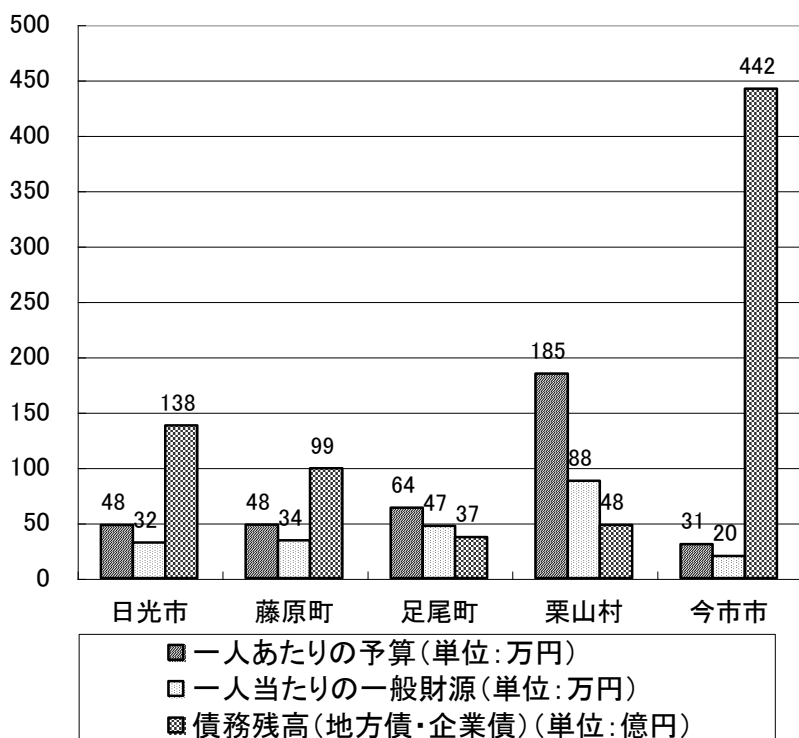
眞杉市長も日光市民から給料を貰い、市長選挙のときは「二十一世紀にふさわしい町作りを進めたい」との発言が新聞に報じられていました。日光にとってまさに「これから街づくり」という時に、日光市が主体的に街づくりができるのでしょうか。今市主体の街づくりになるのは火を見るより明らかです。無責任であると言わざるを得ない。今市消防庁舎がいい例です。眞杉さん、自分の人生設計より日光市民の生活設計とこの街、日光市の設計をしてください。お願いします。

## 今市にとって合併は「何らかの仕掛け」 今市市の財政はどうなっているの？

一人当たりの年間予算は今市市、30万7千円で最低。市町村の財政力を示す一般財源【市町村税（住民税、固定資産税、都市計画税など）と交付税】は市民一人当たり、日光市は32万1千円、藤原町34万1千円、足尾町47万6千円、栗山村は88万2千円、**今市市は20万3千円です。財政力がいちばん弱いのは今市です。**（14年度、決算ベース）

平成14年4月14日斎藤今市市長は後援会の席上、次のように述べました。「今の不況下では税収は増えない。子供の世代には今市の財政状況は大変なことになる。その解決策には合併しかない。相手のあることだが、今年度中に何らかの仕掛けをしたい」と。今市にとって合併とは「街づくり」ではなく財政のための単なる「仕掛け」なのです。平成15年度、一人当たりの年間予算は日光市48万円、藤原町48万4千円、足尾町63万7千円、栗山村184万6千円、今市市は30万7千円です。いちばん財政が厳しいのは実は今市市なのです。視察に行った長野県阿智村の村長さんも「合併したら、日光が今市のオムツを買ってあげるようなものじゃないですか」と話していました。**合併するとオムツの枚数は減るのです。**

一人当たりの年間予算、一人当たりの一般財源、債務残高比較表



## 今市は税金(財源)があがいづらい都市構造！

一般財源は市町村が自由に使える税財源。住民税、固定資産税、都市計画税、交付税などで、市町村の財政力を示す金額です。都市計画税の納税義務者は日光が8.195人で1億7千400万円、今市市はたったの8.477人で1億7千300万円。税負担の問題も先送り。網掛けすべきです。

### 何のための借金？借金を残す特例債

特例債297億5400万円は可燃ごみ処理施設（生ごみはリサイクルすべき）以外、何に使うか具体的に決定されていません。返済は3年据え置き20年払いで予定され、返済総額は370億3006万。普通交付税が算入されるのは70%です。残り30%の約73億円は市民負担。「この際、借金をしてしまえ」では後世に大きな負担を残すだけ。用途を明確にすべきです。新庁舎に120億以上のお金をかける気かもしれませんが、県庁建て替えの時と同じようにこれを阻止する事は至難の業です。特例債に頼った兵庫県篠山市は今、大変なことになっています。また、政府は合併新法で新しい有利な地方債を検討中であり、急いで合併することは無いのです。

## 合併すると約120億、いや、もっと多額の予算が新庁舎建設と周辺道路に使われます。

稲葉卓夫は4年前、県庁建て替えに反対し福田昭夫さんを応援しました。結果は約800億円もの県民の税金を使って建設中です。合併すると、特例債のうち120億円以上の巨額な予算が新庁舎とその周りのアクセス道路建設に使われる事になります。今、問われているのは行政の効率化と議員、議会の在り方だと思います。お金のために合併するなら、その前にやる事はいくらでもあります。貧乏な日光市役所に黒塗りの高級車はいらない。議員報酬も日当制を導入し、夜間議会、週末議会で市民本位の議会を日光から創ろう！